

[公益財団法人新聞通信調査会 主催シンポジウム]

広がる格差と メディアの責務

非正規と正規社員の雇用格差、依然残る男女間の格差、世代間格差、大都市と地方との地域格差など、さまざまな格差の広がりが社会問題として浮上しています。貧困連鎖、ブラック企業、下流老人問題などにも触れながら、改善に向けてメディアが果たすべき責務を討議したいと考えます。

日時 2015年12月10日(木) 13:30～17:00 (13:00開場)

場所 JPタワー ホール & カンファレンス

内容 13:30～14:45 基調講演
15:00～17:00 パネルディスカッション

主催 公益財団法人新聞通信調査会

基調講演者



湯浅 誠

Makoto YUASA
社会活動家 / 法政大学教授

1969年東京都出身。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年以内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長など。現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK第一ラジオ「マイあさラジオ」レギュラーコメンテーター。著書に『ヒーローを待っていても世界は変わらない』（朝日文庫）や第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞を受賞した『反貧困』（岩波新書）など多数。

コーディネーター



松本 真由美

Mayumi MATSUMOTO
東京大学教養学部客員准教授

熊本県出身。上智大学外国語学部卒業。大学在学中にテレビ朝日の報道番組のキャスターになったのをきっかけに、報道番組のキャスター、リポーター、ディレクターとして幅広く取材活動を行う。2008年より東京大学における研究、教育活動に携わる。東京大学での活動の一方、講演、シンポジウム、執筆など幅広く活動する。



谷口 学

Manabu TANIGUCHI
共同通信社客員論説委員

1950年三重県出身。早稲田大学政経学部経済学科を卒業後、87年共同通信社に入社。農水省クラブキャップ、経済企画庁（現内閣府）クラブ、日銀クラブキャップ、兜クラブキャップ、東京経済部デスク、経済ウイークリー編集長などを経て、2010年6月編集局論説委員室論説委員、14年5月から客員論説委員兼KK共同通信社企画委員。

パネリスト



軽部 謙介

Kensuke KARUBE
時事通信社解説委員長

1955年東京都出身。79年早稲田大学卒業後、時事通信社入社。社会部、福岡支社、那覇支局、経済部、ワシントン特派員、経済部次長、ワシントン支局長、ニューヨーク総局長、編集局次長兼解説委員などを経て現在解説委員長。著書に『ドキュメント沖縄経済処分』『検証バブル失政』（いずれも岩波書店）など。



大沢 真理

Mari OSAWA

東京大学社会科学研究所教授・経済学博士（東京大学）、日本学術会議連携会員。1953年群馬県出身。専攻は社会政策の比較ジェンダー分析。日本の生活保障の特徴を年代比較、国際比較を交えて分析。ベルリン自由大学、ポッフム大学、アジア工科大学院大学、ハンザ先端研究所などで客員教授を務める。著書に『生活保障のガバナンス—ジェンダーとお金の流れで読み解く』（有斐閣）、『現代日本の生活保障システム—座標とゆくえ』（岩波書店）など。



曾根 英二

Eiji SONE

阪南大学国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科教授。1949年兵庫県出身。74年早大卒。山陽放送入社。80年から84年JNN（TBS）カイロ特派員。香川県豊島の産廃報道で45回菊池寛賞。99年『ゴミの島から民主主義』で民放連盟賞最優秀などドキュメンタリー多数。10年より現職。著書に『限界集落』（日本経済新聞出版社・64回毎日出版文化賞受賞）、『生涯被告おっちゃんの裁判』（平凡社）など。



今野 晴貴

Haruki KONNO

NPO法人POSSE（ポッセ）代表理事
ブラック企業対策プロジェクト共同代表。
一橋大学大学院社会学研究科
博士後期課程在籍。
1983年宮城県出身。中央大学法学部の学生時代にNPO法人「POSSE」結成。2008年から雑誌「POSSE」を発行。『生活保障：知られざる恐怖の現場』（ちくま新書）、『ブラック企業ビジネス』（朝日新書・大佛次郎論壇賞受賞）、『ブラック企業日本を食いつぶす妖怪』（文春新書）など著書多数。

申込み方法

公益財団法人新聞通信調査会主催
シンポジウム

広がる格差と メディアの責務

定員 250名 (先着順。定員に達し次第申し込みを締め切ります)

参加費 無料 (要申し込み。申し込み完了後に聴講券を送付しますので当日ご持参ください)

≫ 新聞通信調査会ホームページから

<http://www.chosakai.gr.jp/index2.html>

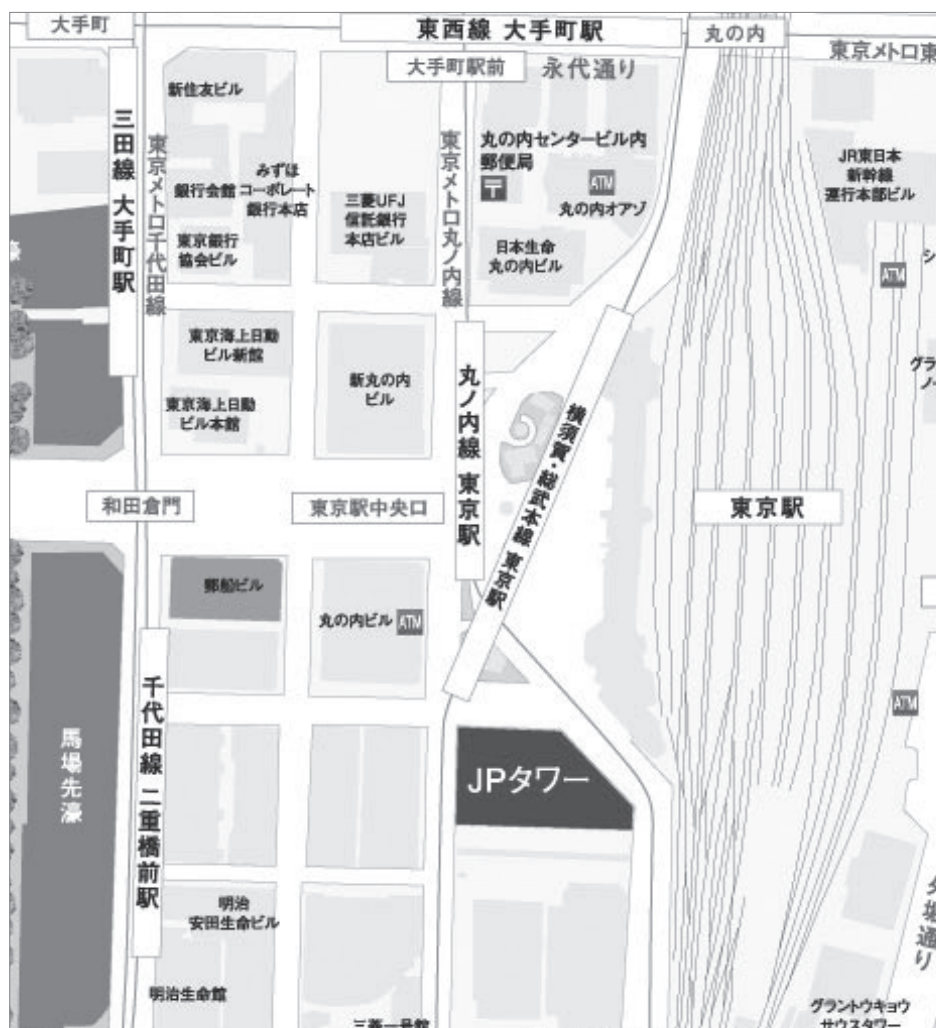
≫ ハガキ・FAX

氏名、郵便番号、住所、所属、性別、年齢、電話番号、メールアドレス、パネリストへの質問を記入して、事務局宛てに送付してください。

・「広がる格差とメディアの責務」シンポジウム事務局宛て 〒105-7208 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー 8階

・FAX: 03-6252-6037

交通アクセス



JPタワー ホール&カンファレンス
東京都千代田区丸の内 2-7-2

KITTE 4階

(※旧東京中央郵便局舎跡)

- JR 東京駅 (丸の内南口)
徒歩約1分
- 東京メトロ 丸の内線 東京駅
地下道より直結
- 東京メトロ 千代田線 二重橋前駅
徒歩約2分
- 都営三田線 大手町駅
徒歩約4分

【問い合わせ先】 公益財団法人新聞通信調査会 TEL:03-3593-1081